



オクト 2

取扱説明書

まえがき

お買い上げいただきありがとうございます。

本書はレジャーダイビング用のビーイズムB. C. に取り付けて使用するオクトパス機能付きインフレーター、オクト2をご使用いただくためのガイドブックです。

本書は、潜水指導団体の講習を受けCカードを取得し、レギュレーター、B. C. の正しい使用方法を身につけた方はもちろん、潜水指導団体の指導のもとでご使用になる方にも、技術を習得する上でお役に立つものと考えております。本書をよくお読みになり、内容を十分に理解された上で実際にご使用下さいますようお願いいたします。またダイビング前にご覧になれるよう、お出かけの際はいつもお持ちいただく事をお勧めいたします。

本書は紛失なされぬよう大切に保管ください。

紛失された際は、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱店におたずねください。後日、再発行致します。

主な内容は、使用前の点検、使用方法、かたづけ方、保管と定期点検からなっています。

本製品は、レジャーダイビング用B. C. と組み合わせて使用するダイビング用品です。したがって、B. C. の正しい取り扱いの知識も必要となります。本取扱説明書とともに、ご使用B. C. 及びレギュレーターの取扱説明書をご利用ください。

また、レギュレーターの機種によっては、本製品との組み合わせによる使用に適さない事も考えられます。

ビーイズム社製器材との組み合わせによるご使用をお勧め致します。

改良の結果、本書の内容がお買い上げの製品と詳細において異なる場合があります。お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてのご質問は、右記までご遠慮なくお問い合わせください。

目次

まえがき	1
▲ 必ずお読みください	2
特徴	2
▲ 使用上の注意	3
各部のなまえと仕様	4
各種ホースを取り付ける	5
使用前の点検とセッティング	6
基本使用方法	7
かたづけ方と保管	8
定期点検・アフターサービス	9
故障?と思ったら	10~11

本書で使われているマークについて

- ▲ 危険** 守らないと重大な怪我や死亡事故につながる危険性が極めて高い事柄です。
- ▲ 警告** 守らないと重大な怪我や死亡事故につながる可能性がある事柄です。
- ▲ 注意** 守らないと怪我や物損事故が起きる可能性がある事柄です。

【お知らせ】 知っているると便利な操作や解説です。

株式会社ビーイズム

東京都中央区日本橋富沢町16-8 TOOKビル 3F

〒103-0006

電話 (03)5640-8126 (代) FAX (03) 5640-8131

必ずお読みください

使用目的

本製品は、レジャーダイビングにおける使用を前提とした潜水器材です。ビーイズム製造のB. C. に取り付けることにより使用可能となり、「B. C. への空気の供給と排気」により浮力調整、「タンク内空気の供給」により緊急時の予備の呼吸を行う潜水機材です。

お使いいただく前に

安全にご使用いただくためには、正しい取扱いと定期的な保守が不可欠です。本書ならびにその他組合わせる器材の取扱説明書に示されている安全に関する注意事項をよくお読みになってから、ダイビングを行ってください。

■レジャーダイビングにおいてご使用ください

▲ 警告

- 本製品をレジャーダイビング以外の目的で使用しないで下さい。

■安全に関する注意事項を守ってください

▲ 警告

- 本製品を使用する際は、この取扱説明書に指示されている安全に関する注意事項をすべて守ってください。

■Cカードを取得してからご使用ください

▲ 警告

- 本製品を使用する場合は潜水指導団体の講習を受け、Cカードを取得し器材の正しい取扱方法を身につけた後、または潜水指導団体の指導のもとでご使用ください。人身事故につながる恐れがあります。

■異常があったら使用しないでください

▲ 警告

- 異常があったら使用してはいけません。
- 異常がみられた場合は、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店にご相談下さい。正常ではないレギュレーターの使用は、人身事故につながる恐れがあります。

特徴

本製品の特徴

■インフレーターとオクトパスを一体化

通常時はインフレーターとして使用し、緊急時には、バックアップ用オクトパスとして使用が可能です。少ない装備で、安全を確保できます。

■専用樹脂ホースの採用

中圧ホースには軽量の専用樹脂ホースを採用しています。無臭性（食品衛生法適合ホース）なので、供給するエアも清潔です。また、柔軟性にも優れ、口元のストレスも軽減します。

■中圧ホース金具のグローバルスタンダード対応

中圧ホース金具はJISネジから、米国ダイビング業界標準のANSI. Z86. 7. 2完全準拠形状に変更いたしました。

⚠ 使用上の注意

□安全ルールを守りましょう

潜水指導団体の講習を受け、Cカードを取得し、レギュレーターの正しい取り扱い方法を身につけた後、あるいは潜水指導団体の指導のもとでご使用ください。

点検等は、バディにも行ってもらいましょう。

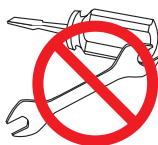
一般的なレジャーダイビングの安全範囲である水深30mより深い深度へのダイビングは避けてください。

□弊社ホースガードをご使用ください

中庄ホースには、弊社製品以外のホースガード、ホースプロテクター等を取り付けないでください。ホース破損の原因となる場合があります。

□改造はしないでください

改造は、安全上問題となることがあります。改造はしないでください。改造後のトラブルに関しては、責任を負いかねます。



□薬品類に関してご注意ください

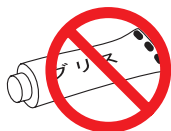
水銀や化学薬品（シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれら含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類）が付着すると、本体およびホースなどに変色や破損を生ずる事があります。



□指定グリスをご使用下さい

当社指定グリスを指定の箇所だけに塗布して下さい。

(P9「各種ホースを取り付ける」参照) 指定以外の塗布を行うと、破損を招くことがあります。



□ショックを与えないでください

通常の使用状態でのショックには十分耐えますが、落としたり、強くぶついたりすると故障の原因になります。



□ホースを折ったり、引っ張らないでください

⚠ 警告

●ホースを折ったり、引っ張ったりしないでください。壊れるばかりでなく人身事故につながる恐れがあります。



□特殊環境で使用しないでください

⚠ 警告

●通常水域（海洋、湖、淡水及び海水プール）で使用するレジャーダイビング用レギュレーターです。特殊な（薬物、溶剤、油分等がある）環境での使用はできません。

□水圧感知穴をふさがないでください

⚠ 警告

●レギュレーターファーストステージ及びセカンドステージの水圧感知穴をふさぐとレギュレーターが正常に作動いたしません。水圧感知穴はふさがないでください。



□使用するタンクにご注意ください

⚠ 警告

●本製品は、大気中の空気を250bar以下に充填できるタンクに取付使用可能となるよう設計されています。したがって、純酸素や酸素濃度の高いタンクは使用できません。

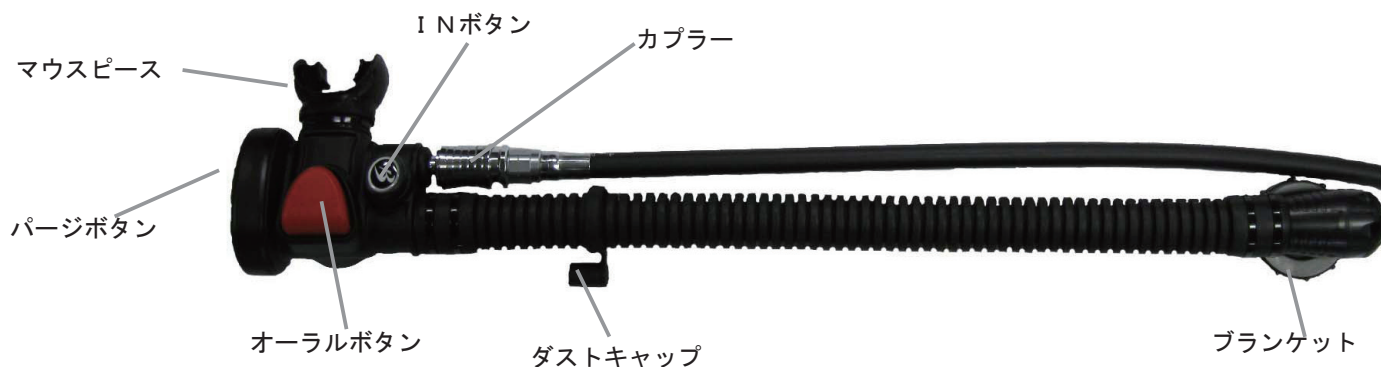
●チタン製レギュレーターには酸素濃度が40%を超えるタンクは使用しないでください。発火・燃焼などが発生し人身事故につながる恐れがあります。



各部のなまえと仕様

オクト2

各部のなまえ



仕様

本体

蛇腹ホース長さ ; 450 mm
(ブランケット中心からORALボタン先端までの長さ)
重量 ; 680 g (ホース含む)
BC給気流量 ; 150 リットル/分

ホース部分

材質 ; 内管 ; 塩化ビニル樹脂
外皮 ; 塩化ビニル樹脂 継手金具 ; 銅合金
外径 ; 13 mm
長さ ; 700 mm
継手ネジの呼び ; 3/8-24UNF 最高使用圧力 ; 15 bar
最小曲げ半径 (ホース内側) ; 115 mm
ホースガード ; 標準装備

付属品

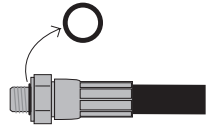
本製品をお使いになる前にお確かめください。

- 保証書 (1部)
- 取扱説明書 (1部)

中圧ホースを取り付ける

⚠ 警告

- レギュレーターファーストステージをタンクに接続しない状態で取り付けてください。作業中ファーストステージ内に圧力がかかっていると、ポート蓋が飛ぶなどして危険です。
- ホースの接続ネジ部根元にOリングがセットされていることをご確認ください。Oリングが無い場合エア漏れの原因となります。
- 付属の専用ホースを取り付けてください。機材の破損を招くだけでなくホースが抜け呼吸できない事故による人身事故の可能性があります。



⚠ 注意

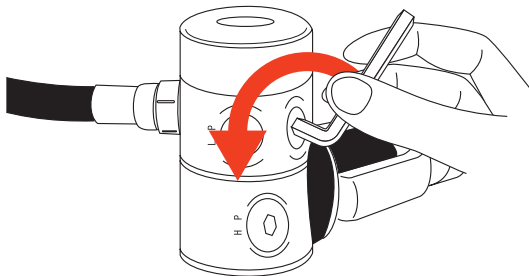
- 中圧ホースの接続は弊社商品取扱販売店で行ってもらってください。
- ホース金具をスパナで締め付ける際は、 $9.8 \text{ N}\cdot\text{m}$ ($100\text{kgf}\cdot\text{cm}$) の締め付けトルク（締め付け開始から $1/36$ 回転）を守ってください。ネジ部を痛める原因となります。
- ファーストステージの取扱説明書に記載された締め付けトルクが $9.8 \text{ N}\cdot\text{m}$ より小さい値の場合は、その値を守ってください。

中圧ホースを取りつける

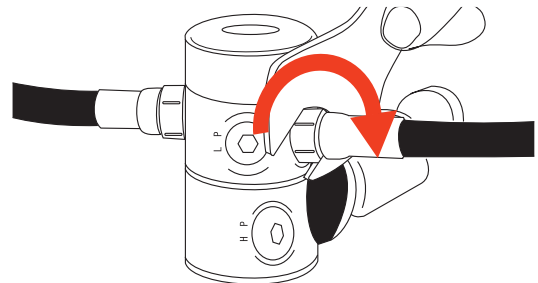
⚠ 警告

- 中圧ホースは、L.P. ポートのネジのサイズが $3/8-24\text{UNF}$ の場所に接続してください。取り付け場所を間違えると器材の破損をまねくだけでなく、ホースが抜けるなどして人身事故につながる恐れがあります。

1 レギュレーターのファーストステージのL.P. ポートの蓋を外してください。



2 中圧ホースをL.P. ポートに、スパナで時計方向に回して締め付けてください。締め付けトルクは $9.8\text{N}\cdot\text{m}$ ($100\text{kgf}\cdot\text{cm}$) です。



使用前の点検とセッティング

警告

- 以下の種々点検により、異常があったら使用してはいけません。
- 異常がみられた場合は、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店にご相談ください。正常でない機器の使用は人身事故につながる恐れがあります。

1 ホースの点検

レギュレーターをタンクバルブにセッティングする前に、ホースが破損していないか、折れていないかを点検します。ファーストステージに接続されているセイフティーセカンドのホース、高圧ホースなどホースすべてを点検します。

2 セカンドステージの点検

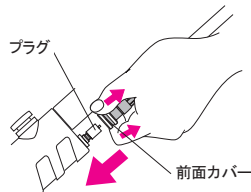
セカンドステージインフレーター各部に外観上割れや亀裂がないかを点検します。

3 カプラーをインフレーターに接続する

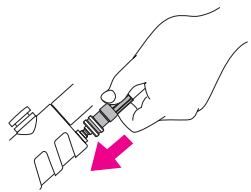
警告

- カプラー接続の作業を行うときは、タンクバルブを閉じレギュレーターのパージボタンを押してホース内の圧縮された空気を抜いてください。

- (1) カプラーのカラーを引きながら、B、C、インフレータープラグに軽く差し込みます。



- (2) カプラー根元に持ち替え、”カチッ”と音がするまで押し込みます。



- (3) カプラー根元を持ち、引っ張り、抜けないう確認して下さい。抜けてしまった場合は、はじめからやり直して下さい。

4 エアー漏れをチェック

- (1) タンクバルブを開ける前にマウスピースをくわえて口で吸ってみて、空気が漏れて入ってこない事を確認します。
- (2) タンクバルブをゆっくり開け、全開まで開けてから半回転戻します。
- (3) レギュレーターファーストステージ、セカンドステージ、ホース接続部、ホース等エアーが漏れてないか点検します。
- (4) インフレーターとの接続部分を（カプラーまわり）から空気が漏れていたらバルブを閉じ、レギュレーターセカンドステージのパージボタンを押すなどして、ホース内の圧力がかかっていない状態にしてから、もう一度カプラーを付け直し再度チェックします。

（それでも漏れている場合は、使用を中止しお買い上げ店もしくは弊社商品取扱店にご相談下さい。）

5 吸排気のチェック

警告

- セッティング後レギュレーターセカンドステージから正常にエアーが出ない時は使用しないでください。
- 吸った空気に匂いがあるときは、そのタンクの使用を中止し、他のタンクに付け替えてください。タンクを替えても匂いが取れないときは、そのレギュレーターの使用を中止してください。

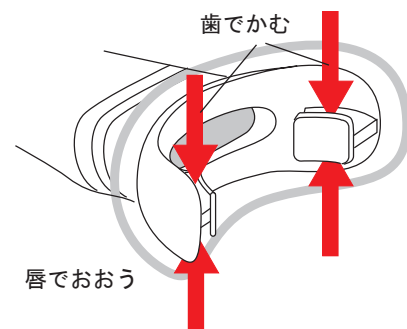
マウスピースをくわえて4～5回口で呼吸し、エアーが無理なく流れてくることを確認してください。

マウスピースのくわえ方

注意

- マウスピース突起部は強くかまないで下さい。強くかむと切れる事があります。

マウスピースの突起部を歯で軽くかみ、全体を唇でおおうようにくわえます。



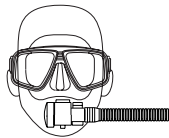
基本使用方法

くわえ方

⚠ 警告

- マウスピース突起部は強くかまないで下さい。
強くかむと切れ、口からはずれ易くなり溺れるなど人身事故につながる恐れがあります。
- セカンドステージはホース付け位置が下位置にくるようにくわえてください。

マウスピースが上位置、ホースが下位置にくるようにくわえます。

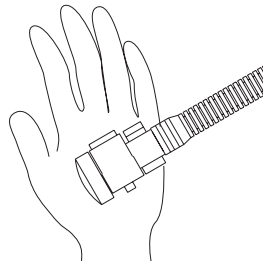


フリーフローしたら…

⚠ 注意

- エントリー直後レギュレーターセカンドステージからフリーフローすることがありますが下記に説明する方法で止まらない場合は使用を止めてください。

▼マウスピースの穴を手のひらや指でふさいでください。



【お知らせ】

- エントリー直後などセカンドステージの向きなどによって、マウスピース部より空気が吹き出すことがあります。上記の方法で止まったときは、故障ではありません。

呼吸をする

マウスピースをくわえレギュレータークリアの後、口で大きくゆっくりと呼吸します。

レギュレータークリア

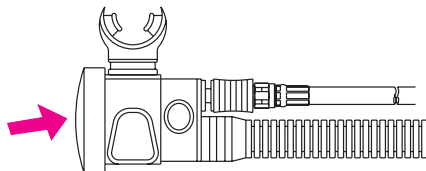
⚠ 警告

- 空気を吸う前に、必ずレギュレータークリアを行い排水してから呼吸してください。誤って水を飲み溺れの原因となることがあります。
- レギュレータークリアを習得していない状態で行うと、水を飲み溺れの原因となることがあります。レギュレータークリアの練習は、潜水指導団体の指導のもとで行ってください。

空気を吸う前に、レギュレーターセカンドステージ内に入った水の排出動作（レギュレータークリア）を行います。

■パージボタンによるレギュレータークリア

マウスピースをくわえた状態で、息を吐きながらパージボタンを押します。水が残っている場合もあるので、水を飲まないようにゆっくりと少しずつ息を吸い、残っている場合はもう一度行います。

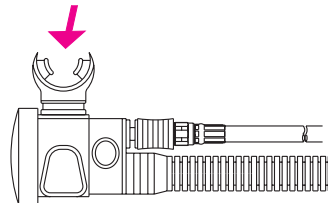


■呼気によるレギュレータークリア

マウスピースをくわえた状態で、息を強く吹き出しセカンドステージ内の水を吹き出します。

水が残っている場合もあるので、水を飲まないようにゆっくりと少しずつ息を吸い残っている場合はもう一度強く息を吹き出します。

強く吹き込む



【お知らせ】 ○排気弁が下になるパージボタンが真横の状態で作ると水の排出を効果的に行えます。

B. C. の基本使用方法は、B. C. の取扱説明書に従ってください。

かたづけ方と保管

カプラーをB. C. インフレーターからはずす

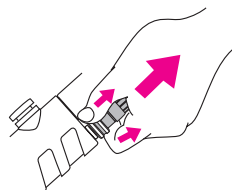
▲ 注意

- B. C. ホースをインフレーターからはずす前に、必ずタンクバルブを閉じ、レギュレーターのパージボタンを押してホース内の圧縮された空気を抜いてください。

1 レギュレーターおよびスクーバダイビング用タンクを取説に従って、タンクバルブを閉めます。

2 レギュレーターセカンドステージのパージボタンを押し、ホース内の空気を抜きます。

3 カプラーのカラーを引き、引いたままの状態、プラグより抜きます。



洗う

▲ 注意

- 50°C以上のお湯に付けると、器材が破損することがあります。
- 洗浄中はパージボタンを絶対に押さないでください。水が浸入し故障の原因となることがあります。
- ダストキャップは必ずしっかりとはめてください。内部に水が入り故障を招きます。

【お知らせ】

○ 洗浄中あやまってパージボタンを押してしまった場合及びダストキャップをしめ忘れた場合は再度タンクに接続して、パージボタンを押して内部の水を出して下さい。

1 ダストキャップをカプラーに取り付けます。

2 B. C. の取扱説明書に従って洗ってください。

定期点検・アフターサービス

乾燥および保管

▲ 注意

- ホースは、自然な形で保管してください。無理な曲げはホースの折れをまねき、寿命を著しく縮めます。
- 自動車内や浜辺など高温状態で放置すると、機能に支障をきたすことがあります。
- 半透明のマウスピースや白色部品（ホースなど）は長時間日光や蛍光灯の光に当てて、長期間使用すると黄色く変色することがあります。またフィン等のゴム製品に長時間触れると色が付くことがあります。



- B、C と共にオクト2の洗浄を充分に行います。
- 直射日光を避け、涼しく、乾燥した風通しの良い日陰で、乾燥させ、保管します。

定期点検について

▲ 警告

- 年に1回、または潜水本数100本につき1回、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店に定期点検に出してください。
- 使用の有無にかかわらず、定期点検を怠るとオクト2が正常に機能しないことがあります。

【お知らせ】

●部品の中には、自然劣化するものもあります。定期点検ではこのような部品の交換も行います。

■年に1回、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店に定期点検に出してください。(有料)

保証書について

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際にお受け取り下さい。
- 所定の事項を記入し、記載内容をお確かめ下さい。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

買い上げ店、または弊社商品取扱販売店にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

弊社はレギュレーターの補修用の性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後、最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店にご相談ください。

故障？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう一度点検してみましょう。それでも正常に作動しないときは、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店にご相談お問い合わせください。

トラブル内容	主な原因	処置	ページ
エアーがこない	<ul style="list-style-type: none"> ○タンクバルブのcockの開け忘れ。 ○タンクに空気が無い。 ○ファーストステージもしくはセカンドステージの水圧感知穴がふさがれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○タンクバルブを開ける。 ○空気が充填されたタンクに交換してください。 ○水圧感知穴がふさがれていないかチェックしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> — — 3
吸気抵抗が大きい	<ul style="list-style-type: none"> ○タンクの空気が少ない ○タンクバルブの開き方不足。 ○セカンドステージ作動不良を起こしている。 ○ファーストステージもしくはセカンドステージの水圧感知穴がふさがれている。 	<ul style="list-style-type: none"> ○空気が充填されたタンクに交換してください。 ○タンクバルブを開いてください。 ○お買い上げ店、弊社商品取扱販売店にご相談ください。 ○水圧感知穴がふさがれていないかチェックしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> — 6 — 3
排気抵抗が大きい	<ul style="list-style-type: none"> ○本体ケースと排気弁の固着。 	<ul style="list-style-type: none"> ○水に浸し塩分等の結晶を溶かしてください。 	<ul style="list-style-type: none"> 8
フリーフローする	<ul style="list-style-type: none"> ○ベンチュリー効果により空気が吹き出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ○マウスピースの穴をふさぐ。 	<ul style="list-style-type: none"> 7
セカンドステージに水が浸入する	<ul style="list-style-type: none"> ○レギュレータークリアが不十分。 ○排気弁に異物がはさまっている。 ○マウスピースの緩み及び亀裂。 ○ケースのひび。 	<ul style="list-style-type: none"> ○再度レギュレータークリアを行う。 ○排気弁の点検。 ○マウスピースの点検。 ○お買い上げ店、弊社商品取扱販売店にご相談ください。 	<ul style="list-style-type: none"> 7 — — —
ファーストステージからのエアー漏れ	<ul style="list-style-type: none"> ○ネジ部の緩み、はずれ。 ○エアー漏れ箇所のリング摩耗、傷、異物の付着。 	<ul style="list-style-type: none"> ○各ホースネジ部をしめ直してください。 ○お買い上げ店、弊社商品取扱販売店にご相談ください。 	<ul style="list-style-type: none"> 5 —

故障？と思ったら つづき

トラブル内容	主な原因	処置	ページ
IN ボタンを押しても膨らまない。 (給気されない)	○B. C. ホースが正しく接続されていない。 ○タンクバルブが開いていない。 ○タンクにエアーが十分に入っていない。	○B. C. ホースが正しく接続して下さい。 ○タンクバルブを開けて下さい。 ○エアーが十分に充填されているタンクにセットしなおして下さい。	6 — —
IN ボタンを押しても膨らまない。 (給気されている)	○オーラルボタンを同時に押ししている。 ○プルダンプバルブが開いている。	○オーラルボタンを押さないで下さい。 ○操作部を引かないで下さい。	— —
オーラルインフレーションしても膨らまない。 (給気しない)	○プルダンプバルブが開いている。 ○リリースバルブが開いている。 ○空気を吹き込む以外の人に、オーラルボタンを押ししている。	○操作部を引かないで下さい。 ○エグゾーストノブを引かないで下さい。 ○空気を吹き込む時だけ、オーラルボタンを押しして下さい。	— — —
オーラルボタンによる、排気ができない。	○姿勢が適当でない。	○排気口がフロート部よりも高くなる姿勢をとりながら、ボタン操作を行って下さい。	—
インフレーターのマウスピース部から空気が漏れる。	○オーラルバルブに異物が挟まっている。	○インフレーター内をよく洗浄してください。	8
インフレーター の肩ブランケットから空気が漏れる。	○排気バルブに異物が挟まっている。 ○ブランケットが締められていない。	○ブランケット内部をよく水洗いしてください。 ○ブランケット部を再取付して下さい。	8 —
B. C. ホースがインフレーターに接続できない。	○B. C. ホース内に圧力がかかっている。 ○付属のB. C. ホースを使用していないため接続部のサイズが合わない。	○タンクバルブを閉じ、レギュレーターのパージボタンを押すなどしてホース内の空気を抜いてください。 ○付属のB. C. ホースをご使用下さい。	6 —

